



「県立図書館活用法」

愛媛県立図書館長 藤田 克昌

県立図書館の勤務となって5か月、当館の多様な資料や機能について、もっと多くの人に知っていただきたいという思いを強くしております。

本稿では、どうすれば県立図書館を十分にご活用いただけるかを、利用者の皆様の声とともにご案内させていただきますと思います。

1 県立図書館の利用について

県立図書館は松山市堀之内、県美術館新館の南側にあります。県庁西駐車場を2時間まで無料で利用できます。

年間入館者は毎年約23万人。蔵書数約64万冊。開架にある図書は約11万冊、多くの本が書庫にあります。職員がお出しますので気軽におたずねください。なお、愛媛に関する図書資料は網羅的に収集・提供しております。

2 1階(子ども読書室・子ども読書支援センター)

入口を入ると、左に子ども読書室があります。児童図書は約6万7千冊。一般的な読み物のほか、大型絵本や英語の絵本、紙芝居、パネルシアターなど子ども読書のための多様な資料がそろっています。おはなし会(月2回、ボランティアによる)、夏休みの自由研究相談会など多くの行事もあり、たくさんの参加があります。ありがたいことに毎回、毎年参加される方もいらっしゃいます。

学校を訪問して行うブックトークでは次のような感想がありました。

「本の面白さ、楽しさを知ることができました」

「講師の方が分かりやすく、一冊一冊紹介して下さったので、それぞれの本の面白さがよく伝わりました」

「紹介された本がすごく読みたくなりました」

今後とも様々な楽しい資料や行事を提供し、子どもの読書活動を推進したいと思っています。

3 3階(一般図書・各種情報支援)

2階には学習コーナー、3階には一般図書、各種情報コーナー、新聞・雑誌があります。多くの図書資料のほかレファレンス(調べもの支援)にも積極的に取り組んでおり、年間2万件以上の相談があります。私自身も依頼し、リソースの豊富さ、レファレンスの充実度に驚かされました。

「今後、教えていただいたデータを参考にして、より良い論文にまとめられるように頑張ります」

「国立国会図書館の資料、ここまでデジタル化され

ているとは驚きました」(利用者より)

ビジネス情報支援、医療健康情報、子育て支援情報のコーナーもご活用ください。YAコーナーには中高生向けの図書があります。

また、昨年度より、四国がんセンター患者家族総合支援センター「暖だん」との連携も行き、医療健康情報支援サービスの充実にも力を入れています。



4 4階(えひめ資料室・伊予俳諧文庫)

縣市町村誌や畝順帳(せじゅんちょう)、行政資料など、愛媛の歴史や地理・文化を知る上で重要な史料を幅広く収集しています。本年度は行政資料のデジタル化事業をすすめており、今後のサービスの可能性が広がると考えております。

「愛媛県行政資料の中には他地域には見られない稀少な資料もあり、新たな研究が生まれる可能性を秘めていると思います」(歴史研究者より)

また、俳諧資料の重点収集を行っており、多くの方に利用いただいています。

「俳句関係の蔵書の充実に驚いています。質・量ともに日本有数ではないでしょうか。特に、近現代の結社誌の収集は、研究にとって有難いものです。あまり知られていない隠れた俳句の名所があるのを発見した思いで、嬉しく思いました」(俳句愛好者より)

今後とも、資料の充実にも努め、愛媛や俳句の魅力を県内外に発信したいと考えています。

5 各種連携事業について

県内図書館ネットワークの中核的な役割を担う図書館として、市町図書館や、県内の学校図書館、公民館、大学の図書館、及び各種外部機関との連携に取り組んでいます。各機関におかれましては、各種研修会等へのご参加、「協力図書」「協力貸出」の積極的なご活用をお願いします。

「県立図書館からも本をたくさん貸していただき、小さいながらも明るい図書館ができました。この制度があって本当にありがたく思います」

(自治体関係者より)

当館の魅力がお分かりいただけましたか。まずは一度お越しください。ご利用をお待ちしています。

集まれ！ちびっこフェアブル

アンリ・フェアブルをご存知ですか？そうです、あの『昆虫記』のフェアブルです。

夏休みに入ると、子ども読書室には、たくさんの昆虫好きの子どもたちがやってきます。カブトムシやクワガタムシ、セミ、ダンゴムシ（これは昆虫ではないですが）…。いろいろな虫に関する本を抱えてうれしそうです。夏は、ちびっこフェアブルたちのシーズンです。

* * * * *

アンリ・フェアブル（1823-1915）は、フランスの昆虫学者です。決して豊かとは言えない暮らしの中、30年がかりで書いた全10巻の『昆虫記』は、読まれた方も多いのではないかと思います。

特に、スカラベや狩りバチの巻は、有名です。観察力のすばらしさや小さな生き物への愛情にあふれた文章は、子どもたちだけでなく、大人をもひき込みます。また、不思議さを徹底して自分の手で調べ、自分の目で確かめる実証主義的な姿勢には、多くの情報にあふれた現代社会において、学ぶべきことが多くあるのではないのでしょうか。

読書振興グループでは、この夏、「きみもフェアブル！昆虫だいすき！」と題した、子どものための講演会を開催しました。講師は、愛媛県の小中学校の元教員で、現在は山口大学にお勤めの佐伯英人先生。先生もフェアブルと同じように、昆虫への愛情にあふれた方です。観察・フィールドワークをもとに、バッタやコオロギなどの属するバッタ目の研究を続けていらっしやいます。



佐伯英人先生

参加者は、約50名。多くは親子での参加です。まずは、飼ったことがある昆虫。一斉にカブトムシやクワガタムシの名前が上がります。「でも、今は死んでいない…」と子どもが答えると、すかさず先生から、「その後どうしたの？標本にしたらよかったね」と。やっぱ

り先生は、フェアブルです！

昆虫には、脚が6本あるのですが、タテハチョウの仲間は、前脚2本が退化して小さくなり、4本しかないように見えます。4本でも何かにつかまるといふ役目は十分に果たせていて、小さな前脚は、食べ物をさわって味覚を感じるために使うのだそうです。脚で味が分かるなんて！昆虫のすごさを改めて感じました。

さて、ちびっこフェアブルたちの本領発揮はここからです。先生が標本を見せてくださいました。名前あてクイズの始まりです。出題されたのは、バッタ目のケラ、マツムシ、スズムシ、ウマオイ、コオロギ、クツワムシなど。「難しい！分からない！」と言いながらも、どんどん欄が埋まっていきます。たくさんの昆虫の名前を知っていて驚かされます。

鳴き声クイズが始まると、ホールはさながら秋の野原のよう。



標本で名前あてクイズ

休憩時間には、先生の周りに大勢が集まり、質問タイムです。佐伯先生は、一人一人丁寧に答えてくださり、「とても熱心だし、質問が高度だ」と笑顔で話してくださいました。

バッタ目の研究者は愛媛では少ないらしく、「みなさんも研究をやってみませんか？」と先生からリクルートがありました。新種発見の可能性もあるそうです。新種の登録を行うのには、英語で論文を書かなくてはいけないので、「英語は勉強しておいてくださいね」と温かい言葉もありました。

愛媛の子どもたちの中から、昆虫の研究者が出てくれば、すばらしいことだと思います。

* * * * *

なかなか奥深い昆虫の世界。もう一度、『昆虫記』を手にとってみませんか。

（読書振興グループ 田中 ひとみ）

百周年を迎えた伊予史談会と県立図書館

○伊予史談会のあゆみ

伊予史談会は、現在松山市を中心に県内外 500 人を超える会員を持つ地域史研究団体です。今年、創立百周年を迎えました。

伊予史談会は、大正 3 年 (1914 年) 5 月 10 日に、県立松山高等女学校教諭の景浦直孝 (かげうらなおたか)・村長や県会議員を歴任した西園寺源透 (さいおんじげんとう)・銀行員から実家の酒屋を継いだ曾我部一郎 (そかべいちろう) らによって創立されました。

この会は、「愛媛県を中心とする歴史及び地理の研究並びに資料を蒐集保存すること」を目的とし、「例会の開催」、「機関誌の発行」、「資料の蒐集」に努めることにしました。

大正 4 年に県費補助を申請し、翌年からその補助をもとに図書・文書の購入・謄写を開始しました。県費補助と篤志家の寄附によりその蔵書は増加し、昭和元年には、蒐集された図書・文書の数は約 1,200 点に達します。

蒐集した資料は、愛媛師範学校や愛媛教育協会図書館へ保管を委託するなど、保管場所に苦労していましたが、昭和 4 年愛国婦人会館へすべてを移転、「伊予史談会文庫」と命名され、目録も作られ閲覧できるようになりました。

昭和 10 年、伊予鉄道電気株式会社の社長井上要の退職を記念して、松山市二番町に愛媛県立図書館が建築され、県へ寄贈されます。そして同 12 年、伊予史談会と県立図書館は、所蔵資料保管の委託契約を結び、伊予史談会文庫は県立図書館で寄託保管されることになりました。また同時に会事務局を図書館内に置くことになりました。

第二次世界大戦の戦火による資料の焼失はまぬがれましたが、戦後は、伊予史談会の活動は低迷、景浦直孝の息子、勉は会場探しや機関誌「伊予史談」の復刊のための会員募集に奔走しました。

昭和 30 年代以降、『愛媛県史概説』『愛媛県編年史』の編纂をはじめ、『愛媛県史』『松山市誌』など愛媛県・松山市域に関する歴史研究の基本となる概説書・史料集は、伊予史談会会員が中心になって編集・執筆に当たり、地域史研究の活性化を促すとともに伊予史談会の復興にもつながりました。

○伊予史談会と県立図書館

伊予史談会文庫は現在約 7,000 点に上る史料、文献、絵図を所蔵しています。史料の多くは西園寺源透をはじめとする先人たちが長年にわたり蒐集・謄写したも

のです。中には、原本史料が散逸したものもあり貴重な史料が多くあります。

昭和 50 年に県政百周年を記念して堀之内へ移転開館した県立図書館に、伊予史談会文庫はそのまま保管されることになりました。

そして、文庫史料の重要性や活用の利便を考え、文庫目録が昭和 52 年に作成刊行されました。昭和 55 年から、貴重な史料の翻刻出版である「伊予史談会双書」が刊行され始め、これまで 25 冊が刊行されました。

また、伊予史談会が中心となって昭和 45 年に県立図書館内に愛媛文化双書刊行会を組織、簡便で読みやすい郷土読本である「愛媛文化双書」を刊行し始めます。

さらに昭和 51 年には、現在も定例会が県立図書館で行われている「古文書解読講座」が始まりました。この会では、テキストとなる古文書を伊予史談会文庫などから採用し、伊予史談会会員が講師を務めています。



記念式典の様子 (2013. 5. 12)

全国でも最古級の百年にもわたる歴史を誇る伊予史談会について興味のある方は、『伊予史談 369 号』(伊予史談会、平成 25 年 4 月刊)に高須賀康生会長が執筆された「伊予史談会百年の歴史」をぜひご覧ください。

今年 5 月には盛大な記念式典が開催され、『伊予史談会所蔵絵図集成』が刊行されました。

地方史研究にかける熱意が脈々と受け継がれてきた伊予史談会。百周年を迎えて、今後ますますの発展が期待されています。

(図書整理グループ 東 智子)

一般図書室 各コーナーのご案内

皆様の課題解決などを支援するために、特定のテーマの図書等を集めたコーナーを設置しています。

◆子育て支援情報コーナー

子育て中のお母さんお父さんはもちろん、保育、教育、子育て支援に携わる皆様に役立つ資料を集めたコーナーです。

「出産・育児」「名づけ」「子どもの病気・心の問題」「園や学校での生活」「親子関係」「障がい児教育」「児童福祉」「料理」など子育てに関する図書を約 5,800 冊ジャンル別に揃えています。子育て雑誌、お持ち帰り用のパンフレットもあります。

◆医療・健康情報コーナー

皆様の医療や健康に関する調べものをお助けするコーナーです。

医学、看護学、福祉などに関する図書約 4,500 冊のほか、県内の患者会資料や病院情報、月ごとのテーマ展示、「がん情報」や「患者学」などのミニコーナーを作っています。

医療・福祉関係団体や機関から、お持ち帰り用のパンフレットなどもご提供いただいています。

◆愛媛プロスポーツアーカイブズ

プロサッカー Jリーグ (J2) の愛媛 FC とプロ野球独立リーグ・四国アイランドリーグ plus の愛媛マンダリンパイレーツに関する資料を集めたコーナーです。両チームに関する資料を網羅的に収集して、地域密着型プロスポーツの記録資料の殿堂を構築することを目指します。展示などを企画して地域密着型プロスポーツの魅力を広く発信しています。

◆ビジネス情報支援コーナー

仕事に役立つ情報を提供するコーナーです。

資格・職業、業界情報、会社情報、統計・調査報告書、知的財産権などに関する図書が約 2,000 冊あります。また、資料の調べ方を掲載したちらし (調べ方ガイド) を作成し配布しています。

☆「ビジネスなんでも無料相談会」開催中!

起業や経営に関するお悩みを“経営指導のプロ”の中小企業診断士が初歩的な相談からお受けします。図書館司書も同席して問題解決に役立つ資料の提供も行います。(一般社団法人愛媛県中小企業診断士協会との主催により開催)。

*詳細はカウンターへお尋ねください。

◆YA (ヤングアダルト) コーナー

YA=Young Adult 直訳すれば、「若いおとな」。

「コドモ」ではないけれど、「オトナ」でもない…。中高生を中心とした若者向けの本のコーナーです。

YA 世代を応援する、学び方・生き方・進路・職業・料理・芸術・音楽・文学などのお役立ち資料を取り揃えています。

YA 世代に限らず、大人も子どももご利用いただけます。

◇パンフレットコーナー (2階)

ビジネス情報や県内観光案内、各種公募、催事ちらしなど、ご自由にお持ち帰りいただけます。

便利な『データベース』が使えます!

◇D1-Law 法情報総合データベース

現行法規 約 3 万 1 千件の法令

判例体系 約 22 万件の判例と要旨・解説

文献情報 法関連文献と判例の書誌情報

◇官報情報検索サービス

「日本国憲法」施行日 (S22.5.3) から現在までの官報が日付・事項等で検索できます。

◇日経テレコン (カウンターで職員が代行検索)

日経四紙 (「日本経済新聞」他) の記事検索や、企業・人事情報等が検索できます。

インターネットがご利用いただけます!

調査・研究を目的とするインターネット情報の閲覧にご利用ください。

利用時間は 30 分です (次の利用がなければ 2 時間まで延長できます)。



調べ方がわからない時はお気軽にお尋ねください。
ご利用は無料です!

(相談グループ 名田 美由希)

レコードの公開を始めました

愛媛県立図書館では、平成24年12月1日から視聴覚資料の公開を開始しました。そのうちの多数を占めるレコードについてご紹介します。

【内容】

おもに昭和30年代から60年代にかけてのLPレコードで、総数は約15,500枚です。クラシックからロック、歌謡曲、ジャズまで多彩なジャンルにわたっています。

目録は県立図書館ホームページの次のアドレスで公開しています。えひめ資料室には冊子体の目録があります。

<http://www.ehimetosyokan.jp/contents/siryo/record/record.htm>

【利用案内】

4階えひめ資料室のレコードプレーヤーで、ヘッドフォンを使ってお聴きいただけます。

レコードは、すべて書庫に入っています。ご利用の際にはカウンターで「レコード利用申込書」をご記入のうえ、ご希望のレコードを「愛媛県立図書館資料利用票」にてご請求ください。

一度に請求できるレコードは5点までとさせていただきます（入替可）。

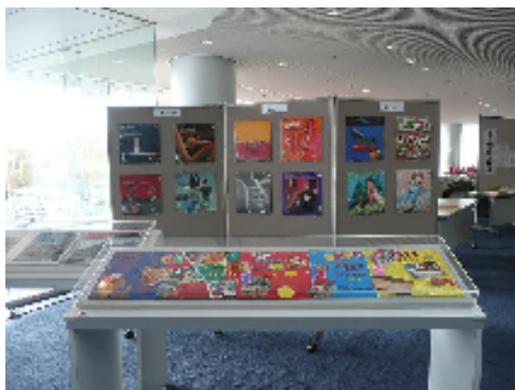
利用時間は1回2時間以内です。次の利用者がいない場合は延長できますが、延長時間中に次の利用者が来た場合には速やかにお譲りください。

貸出・複製（録音、ジャケットや歌詞カード等のコピー）はできません。



【えひめ資料室カウンターより】

12月の公開に先立ち、イベントとして、11月24日に「えひめ生涯学習”夢”まつり」で、レコードジャケット展を開催しました。クラシックや歌謡曲・アニメなど、ジャンル別に45点を展示し、中高年を中心に、多くの方が足を止めてくださいました。



公開開始から10か月が経過し、利用もしだいに定着してきました。利用者数は、月平均8名程度で、中高年の方が多く、リピーターもいらっしゃいます。

県外の愛好者の方からは、「インターネットで検索したところ、ずっと手に入れられなかったレコードが、そちらの図書館に所蔵されているのがわかった」ということで、お問い合わせがありました。また、8月22日に開催した「子ども見学ツアー」では、参加した小学生が、レコードを聴きました。レコードは見るのも初めてという子がほとんどだったと思いますが、どんな風感じたでしょう。

今年9月まで放送された朝の連続テレビ小説「あまちゃん」では、昭和60年代頃の歌謡曲が再び脚光を浴びました。デジタル全盛の時代ですが、あえて昭和のアナログな世界にひたってみるのはいかがでしょうか。

（図書整理グループ 橘 可奈子）



愛媛県読書グループ連絡協議会

創立50年記念総会並びに読書推進大会が開催されました

平成25年6月28日(金)に、松山市道後のにぎたつ会館にて、愛媛県読書グループ連絡協議会創立50年記念総会並びに読書推進大会が開催され、県下各地から読書グループ関係者、読書教育関係者、読書愛好者等158名が集まりました。

「愛媛県読書グループ連絡協議会」略して「県読連」とは、1964年12月に発足し、今年で創立50年を迎える歴史と伝統ある団体です。「伝えよう読書のよこび、広げよう感動の輪」をスローガンとし、県内の読書グループ活動の相互理解と、更なる普及・発展を目指して、日々実践を重ねています。

今年の読書推進大会では、2団体の事例発表が行われました。「ささゆり読書会」の黒田浩美氏(久万高原町)は、平成21年



に野間読書推進賞を受賞した同会の活動内容について、実演を交えながら紹介をしていただきました。「大洲市立大洲北中学校」の井上美和子氏・Gray Alexandra Lynn氏には、日本語と英語による1冊の本の読み聞かせを実演していただきました。年1回県内の読書グループの会員が集まって、様々な団体の事例発表や活動報告を聞くことができるのも、この大会の魅力の一つです。

また、午後からは俳人の夏井いつき氏をお招きして、「絶滅寸前季語~この愛すべき季語の世界~」と題した講演をしていただきました。時代の変化と共に使われなくなっている季語が多くなっていること、そんな季語を絶滅させないように活動されていること等、誰もが先生の俳句の世界に引き込まれました。

今後も魅力ある県読連の活動を続けてまいりますので、興味をお持ちの方は是非ご入会ください。問い合わせは愛媛県立図書館までお願いします。

(読書振興グループ 戸田 雅美)

愛媛県立図書館の利用案内

【開館時間】

火曜から金曜…午前9時40分から午後7時まで
土・日・祝日…午前9時40分から午後6時まで
子ども読書室…午前9時40分から午後5時まで

【休館日】

月曜日(祝日の場合は、直後の平日)
年末年始(12月29日~1月3日)
特別整理期間(10日以内で館長が定める日)
館内整理日(毎月末日、ただし、その日が上記休館日、土・日曜日に当たるときは館長が定める日)

【駐車場】

図書館専用の駐車場はありませんが、**県庁西駐車場**(旧国際交流センター跡地)をご利用いただけます。ただし、駐車台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関のご利用をお願いします。

【付近略図】



編集・発行 愛媛県立図書館

〒790-0007 松山市堀之内
TEL 089-941-1441 (代表) FAX 089-941-1454
<http://www.ehimetosyokan.jp>
e-mail: tosyokan@pref.ehime.jp (代表)